



平成 22 年 4 月 9 日

各 位

会社名 株式会社メッツ
代表者名 代表取締役社長 渡邊 雅良
(コード番号 4744 東証マザーズ)
問合せ先 業務管理部長 中村 直樹
(連絡先 03-5771-4188)
<http://www.metscorp.co.jp/>

たな卸資産評価損および減損損失の計上に関するお知らせ

当社が保有する販売用不動産ならびに固定資産につきまして、平成 22 年 3 月期第 4 四半期におきまして、下記のとおりたな卸資産評価損および減損損失を計上することいたしましたので、お知らせいたします。

記

1. たな卸資産評価損

当社が属する不動産業界においては、住宅ローン減税の拡張や長期優良住宅等に係る税額控除など住宅向けの優遇政策、また土地に関する課税の軽減もあり一部の市場の流通においては改善の兆しがあるものの、業界全体としては依然として厳しい状況であり、本格的な回復までにはまだ時間がかかるものと思われま

す。このような状況の中、販売用不動産の売却については、当社独自のネットワークを駆使し国内の事業会社および海外の投資家等、複数の投資家と積極的に売却交渉を進めてまいりましたが、交渉先との諸条件が折り合わず売却または開発するに至りませんでした。

また、地価の下落に伴う影響が不動産マーケットの価格にも反映されていることから、当社が保有するたな卸資産（販売用不動産）について、現状の適正価格を「棚卸資産の評価に関する会計基準」の適用に伴い、評価の見直しを行いました。

その結果、本日発表の平成 22 年 3 月期決算短信におきまして、たな卸資産評価損を売上原価に計上することといたしました。

たな卸資産評価損計上額 853,940 千円（第 4 四半期）

2. 減損損失

地価の下落に伴いその影響が不動産マーケットの価格にも反映されていることから、「固定資産の減損に係る会計基準」の適用に伴い評価の見直しを行い、保有する固定資産の内時価が下落している資産につき、本日発表の平成 22 年 3 月期決算短信におきまして、減損損失を計上することといたしました。

減損損失計上額 93,934 千円（第 4 四半期）

(内訳) 土地 54,393 千円（第 4 四半期）

建物 39,540 千円（第 4 四半期）

※注意事項

本リリースで述べました今期業績の推移見通しにつきましては、発表日時において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、様々な要因により、異なる可能性があります。

以上